

項目	内容
名称	ドクニンジン [英]Hemlock、California Fern、Carrot Weed、Cicuta、Conium [学名]Conium maculatum L.
概要	ドクニンジン (毒人參) はヨーロッパ原産のセリ科の多年草で、60 cm～3 m程度に生長する。主に葉および種子が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカロイド類 (コニセイン (coniceine)、コニイン (coniine)、コンヒドリン (conhydrine)、コンヒドリノン (conhydrinone) など)、揮発油などを含む (29) (33) (101) (PMID:10340826)。 ・コニインは毒性が強く、先天的奇形の原因となる (33)。
分析法	-
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一
(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(101\) 厚生労働省HP:自然毒のリスクプロファイル：高等植物：ドクニンジン
\(PMID:8553650\) West J Med. 1995 Dec;163\(6\):573-4.
\(PMID:7791646\) Med J Aust. 1995 Jun 5;162\(11\):592-3.
\(PMID:10340826\) Toxicol. 1999 Jun;37\(6\):841-65.](#)
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)